

地域共生社会の実現に向けて

ほっとけん 市民みんなでつくる
ほっとかん まち 高松。

高松市 健康福祉局 健康福祉総務課





「地域共生社会」とは ～「我が事・丸ごと」の地域づくり～

「地域共生社会」とは

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会

これまでの
福祉サービス

高齢者・子ども・障がい者等、
分野ごとに充実させるもの

現 状

世帯単位で複数の課題を抱えている
状況も多くみられる

地域共生社会の推進とは

地域包括ケアの「必要な支援を包括的に提供する」という考え方を、障がい者、子ども等の支援や、複合化・複雑化した課題にも広げた包括的支援体制を構築していくもの

育児と介護の
ダブルケア

障がいのある
生活困窮者

難病患者・がん患者の
就労支援

壮年の引きこもりと
老親の地域での孤立

地域単位
の取組

住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくり

- ① 他人事を「我が事」に変える働きかけ
- ② 地域の課題を「丸ごと」受け止める場づくり
(地区社協、地域包括支援センター、社会福祉法人、NPO法人等)

市町村単位
の取組

個人や世帯の抱える複合的課題等に対する、包括的な支援体制づくり

各制度の相談支援機関を総合的にコーディネートする、相談支援包括化推進員(まるごと福祉相談員)の配置

雇用、就労関係

高齢関係

住まい関係

医療関係

保健関係

多文化共生関係

司法関係

児童関係

家計支援関係

障害関係

+ 新たな社会資源の創出、地域に不足する資源の検討



高松型地域共生社会構築事業のイメージ

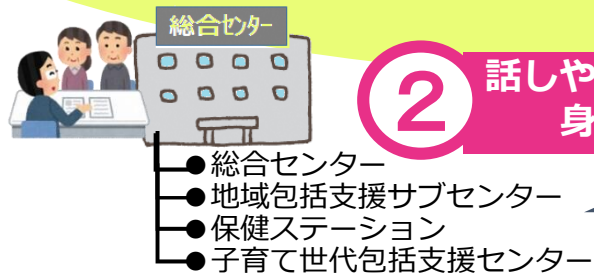
1

地域みんなで助け合う仕組みづくり



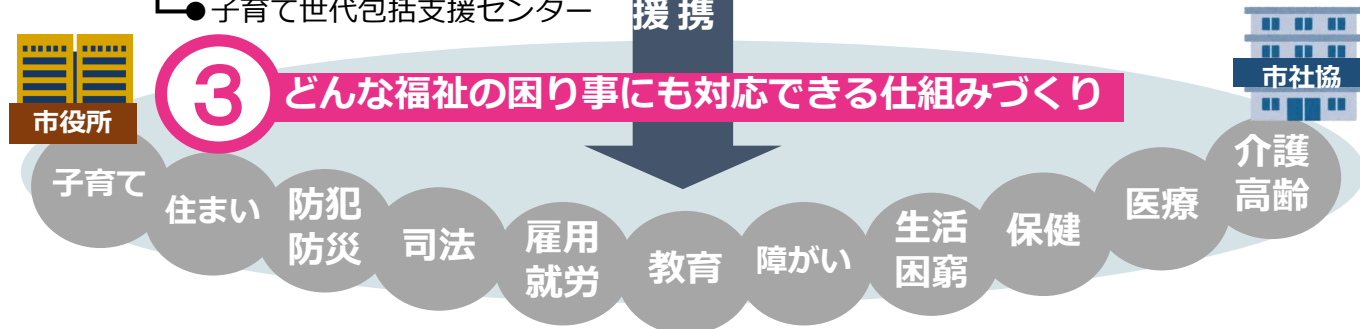
2

話しやすく分かりやすい
身近な相談支援



3

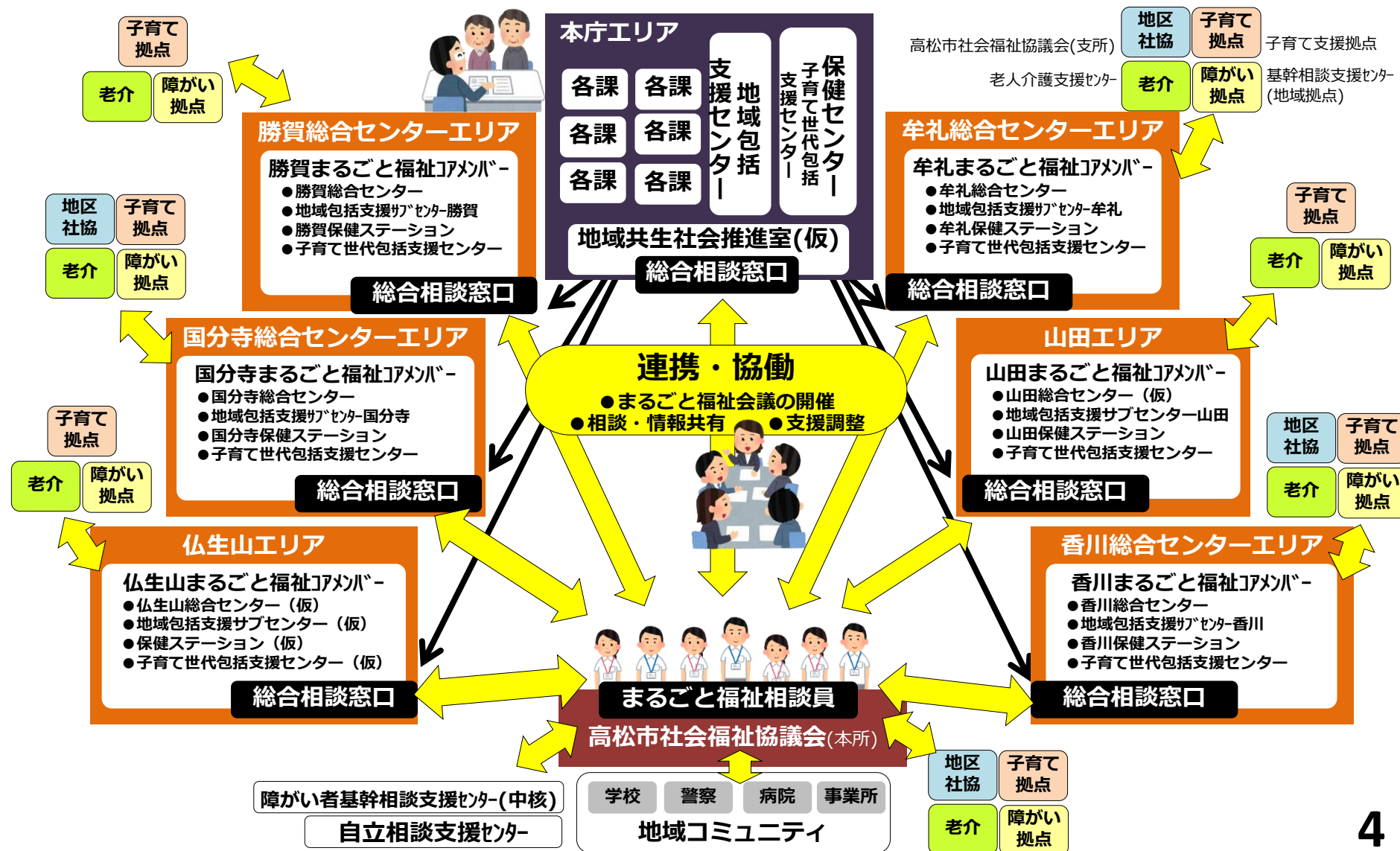
どんな福祉の困り事にも対応できる仕組みづくり





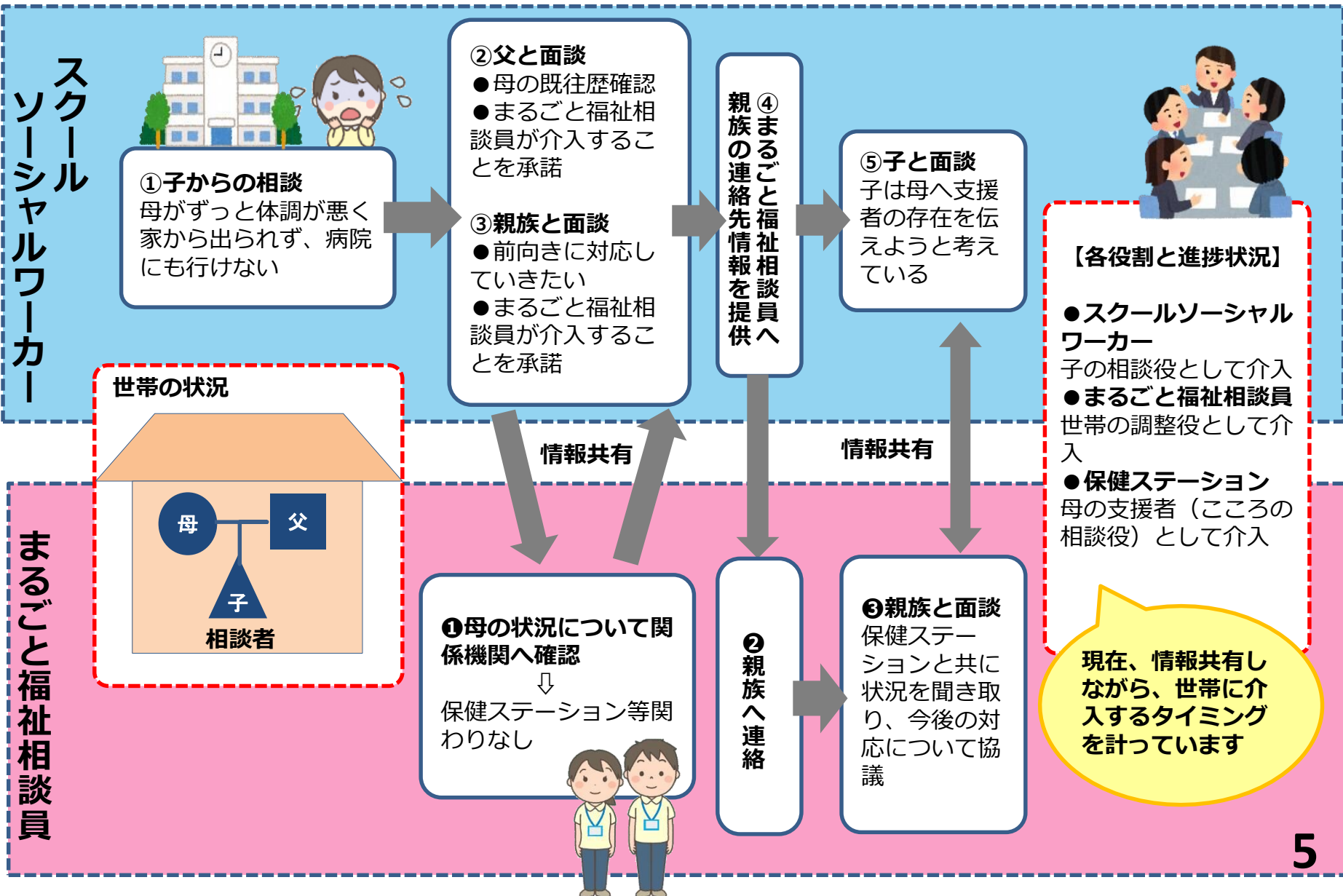
2023年の高松版包括的支援体制イメージ

総合センターを核とした「まるごと」受け止める支援体制づくり





スクールソーシャルワーカーとの連携例





ほっとけん 市民みんなでつくる
ほっとかんまち 高松。